

魚が上りやすい川づくり推進モデル事業

球磨川には荒瀬ダム・瀬戸石ダムの他、球磨川堰を含め6つの堰があり、魚類等の自然遡上・降下の障害となっていました。

平成4年度より「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」により荒瀬ダム・瀬戸石ダムに魚道を新設するとともに、ほとんどの堰で魚道を改築し、現在では、下流部に位置する遙拝堰を除き、連続性は確保されています。



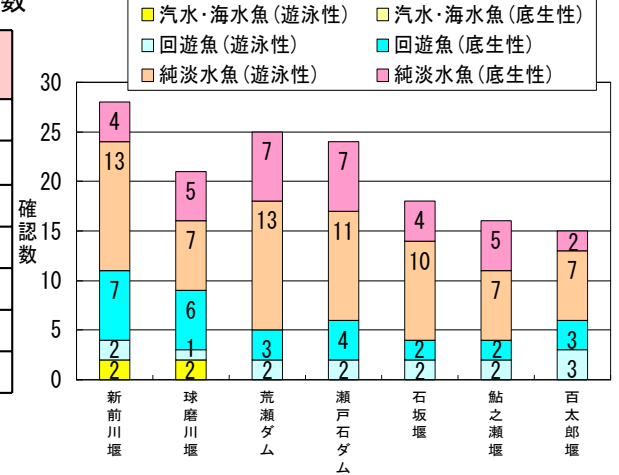
魚道の諸元等

施設名	距離標	延長	入口～出口の高低差	魚道の設置状況	
新前川堰	4k880	約58m	約4m	アイスハーバ-式及び粗石式	平成7年度改築
球磨川堰	6k000	約63m	約4m	アイスハーバ-式及び粗石式	平成10年度改築
遙拝堰	9k000	約30m	約3m	階段式	昭和48年度新設
荒瀬ダム	19k900	約335m	約16m	アイスハーバ-式	平成10年度新設
瀬戸石ダム	28k860	約393m	約17m	アイスハーバ-式	平成13年度新設
石坂堰	78k320	約26m	約2m	アイスハーバ-式	平成12年度改築
鮎之瀬堰	85k240	約20m	約2m	アイスハーバ-式	平成12年度新設
百太郎堰	86k250	約48m	約5m	アイスハーバ-式	平成12年度改築

魚道調査結果

○施設毎の確認魚種数

施設名	確認種数
新前川堰	28種
球磨川堰	21種
荒瀬ダム	25種
瀬戸石ダム	24種
石坂堰	18種
鮎之瀬堰	16種
百太郎堰	15種



H11～16年魚道調査より

瀬戸石ダムの魚道と魚道内の遡上状況



遙拝堰は昭和48年度の堰本体改築の際に魚道も設置されたが、これまでの魚道の機能が十分に発揮できていない状況であるため、魚道の上り口の段差解消のため、一部改良が加えられている。その効果については調査中である。

現在の遙拝堰魚道



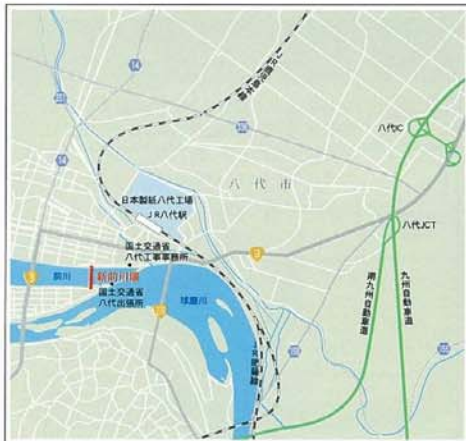
河床低下により水叩き部と河床に落差ができ上下流の連続性に支障きたすため根固ブロックによる段差解消を行っている。

新前川堰

SIN MAE KAWA WEIR 八代市末広地先



魚道



新前川堰

現在の堰は、昭和42年に完成。藩政時代からある旧前川堰に変わって、球磨川の支流、前川沿いの八代市街地を守るために作られました。

堰諸元

河川名	前川
杆数	4k880m
形式	溢流式D式殻構造ローラーゲート
可動部幅	91.50m
門扉数	4門
門扉	20.00×1.50m
固定部幅	85.30m
固定部天端高	3.5m
魚道の形状幅	4.00m
勾配	1/10

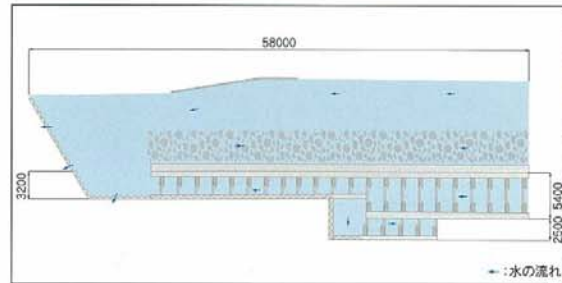
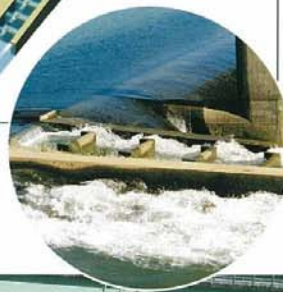
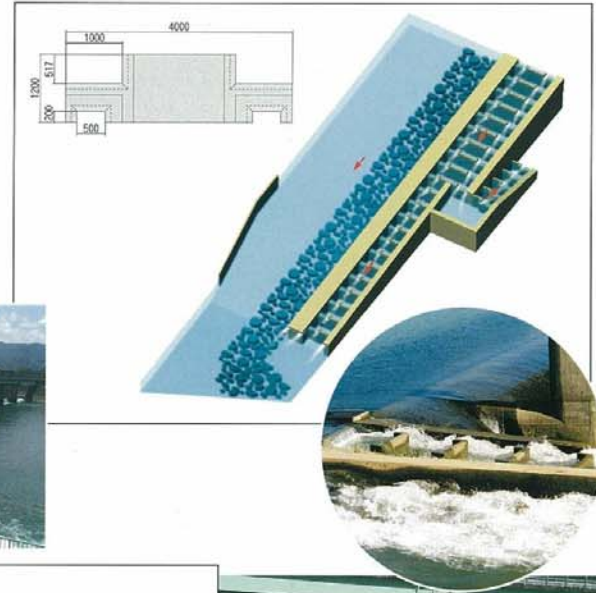
生き物にやさしい川づくり

球磨川の魚道

管理者：国土交通省八代工事事務所

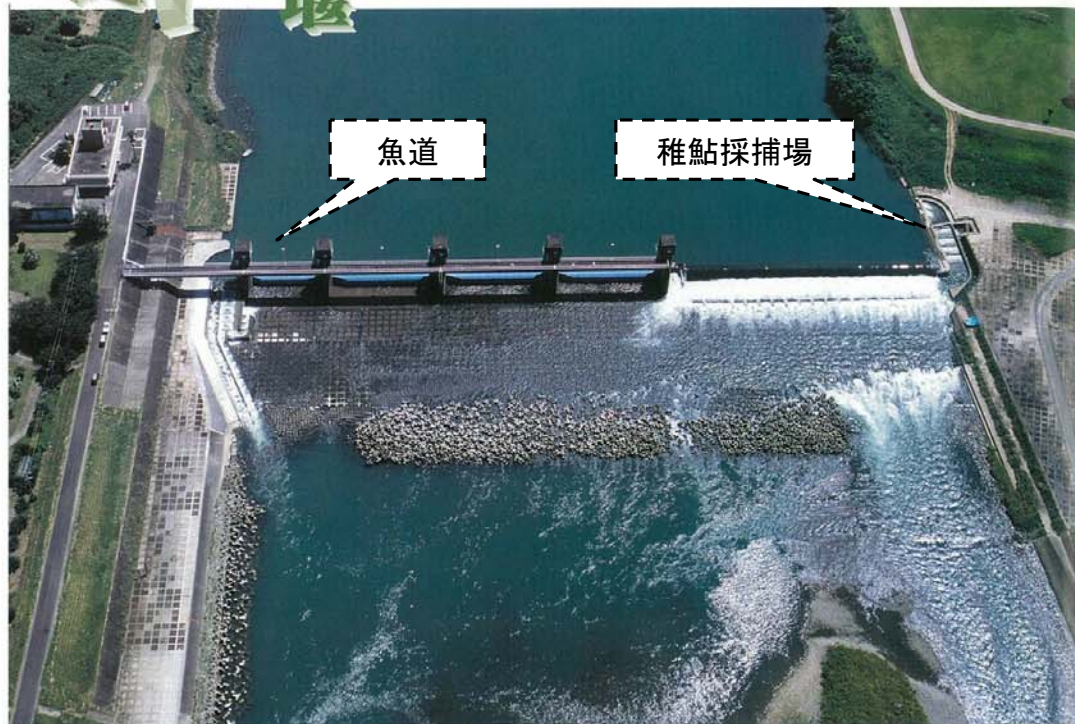
【魚道】

新前川堰の魚道は前川右岸に作られています。アイスハーバー型魚道と粗石式魚道の2つの魚道が並んでいます。それぞれの魚道によってそ上する魚の種類に違いがあり、アイスハーバー型魚道はアユのそ上が多くみられ、粗石式魚道はヨシノボリ・ウナギ等の底生魚類がそ上します。



球磨川堰

KUMA GAWA WEIR 八代市麦島地先



球磨川堰

現在の堰は、昭和42年に完成。新前川堰と球磨川堰、2つの堰が相互に水量を調節することで、球磨川下流域の洪水や渇水被害を未然に防ぐ役割があります。

堰諸元

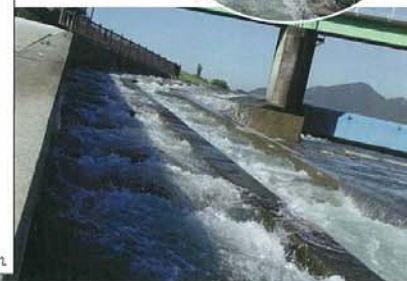
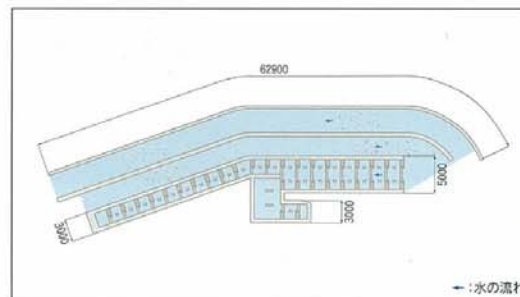
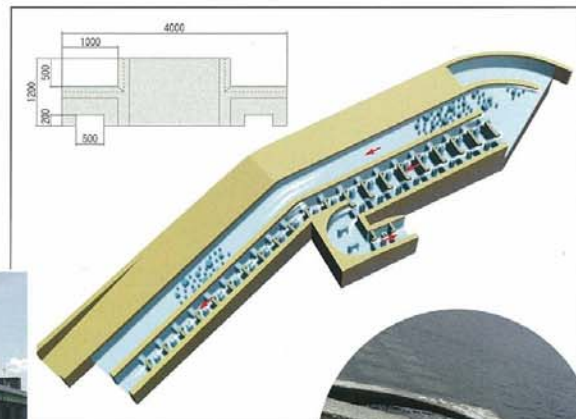
河川名	球磨川
軒数	6k000m
形式	溢流式殻構造ローラーゲート
可動部幅	125.00m
門数	4門
門厚	30.00×2.90m 3門・20.00×2.90m 1門
固定部幅	87.48m
固定部天端高	3.10m
魚道の形状幅	4.00m
勾配	1/10

生き物にやさしい川づくり
球磨川の魚道

管理者：国土交通省八代工事事務所

【魚道】

球磨川堰には川の中央付近に以前からの階段式の魚道がありましたが、勾配がきついため流勢が激しく魚が上りにくい状態でした。このため平成10年に球磨川の右岸にアイスハーバー式と粗石式の2種類の魚道を設置しました。



瀬戸石ダム魚道

